

教育センター学びの丘研修員における学びについて

和歌山市立紀伊中学校

教諭 橘 市 郎

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄について理解を深められるように努めた。その1年間の学びについて述べる。

研究では、中学校外国語科の授業において、英語で会話を継続・発展させる力を高める授業の在り方として、ピア・フィードバック活動を用いた言語活動(話すこと[やり取り])を位置づけた提案授業を行った。生徒はピア・フィードバック活動を通して互いの言語活動の良かった点や改善点を伝え合いながら、楽しく会話を継続・発展させる力を高めることができた。

修養では、自身のこれまでの教育活動や、これから求められる教師像をイメージしつつ、各キャリア段階に応じた実践的指導力の向上を目指す数々の研修を受講することができた。

今後は、ミドルリーダーとして、これまでの経験と研修員生活で得た多くの学びを有機的・効果的に融合させながら「和歌山の教育を元気にする」ために日々精進していきたい。